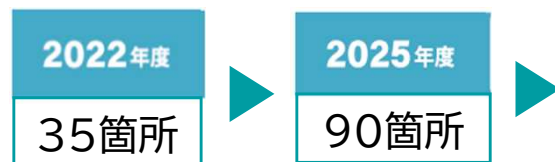


# 首都高速道路を ETC専用

首都高の料金所は、2025年度に新たに55箇所  
(累計90箇所)がETC専用になります。



2028年春までに  
本線料金所などの一部を除き  
入口にある料金所のETC専用化を目指します

※導入後の運用状況、ETCの普及状況及び関係機関との協議等により、予定変更する場合があります

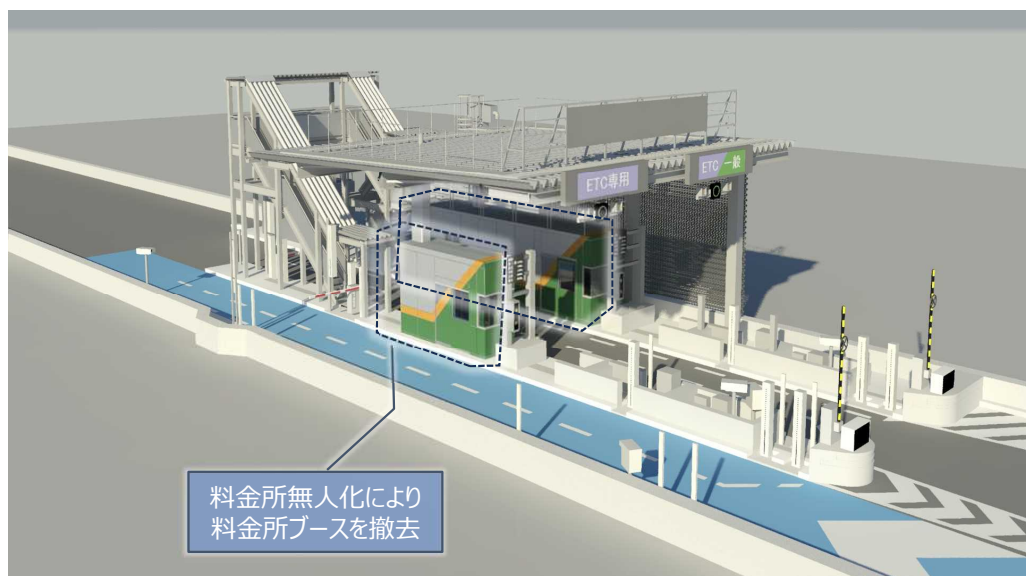
料金所リニューアル工事を順次開始し、工事完了後はETC専用入口として運用を開始します。

## 新しい料金所の特徴

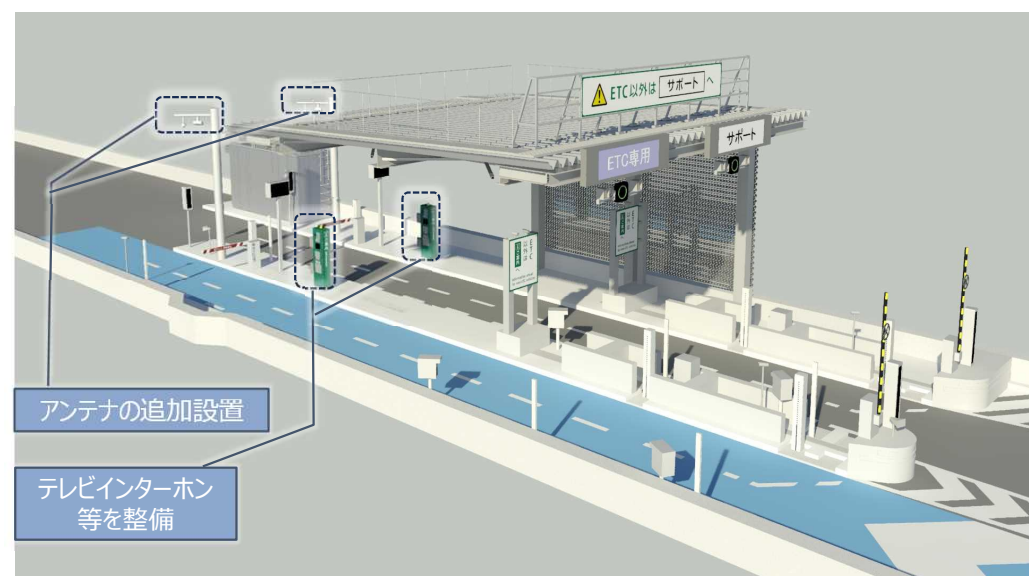
- ETC機器のリニューアルにより、レーン閉鎖機会が減少します
- 料金所無人化※1に伴い、テレビインターホン等を整備し、安定したサービスを継続します
- ETCカードの挿し忘れ等で車両停止したお客さまには、追加設置したアンテナで通信処理します※2

※1 専用運用開始後、持続可能な料金所を実現するため、料金所は無人化します。

※2 遠隔地からETCカード挿入のご案内・通信処理するため、インターホン・アンテナを追加設置します。



現在



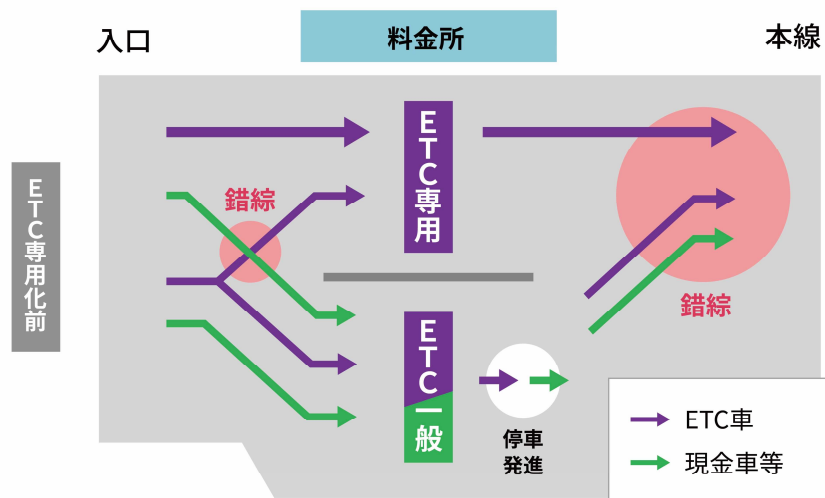
新しい料金所イメージ

※ETC専用の料金所はETC車載器を搭載していない車両はご利用になれません。

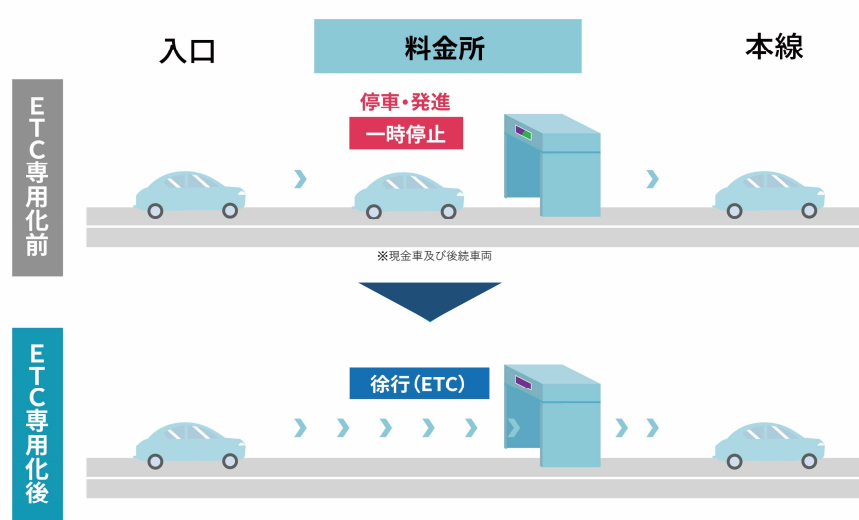
※万が一、ETC無線通行ができない状態(ETC車載器未搭載等)で誤ってETC専用の入口に進入した場合は、危険なためバックせず、「サポート」または「ETC/サポート」と表示されたレーンで一旦停車し、係員の指示に従ってください。

## 料金所が ETC 専用になると

ETC車と現金車の錯綜、停車・発進の繰り返しが削減され、安全性と快適性が向上します。



ストップ＆ゴーの解消によりスムーズな走行が可能になり、環境が改善します。



空いている時間帯や経路の割引等の柔軟な料金設定により、お客さまの混雑区間でのご利用がスムーズになります。

